

会社概要 / 株主メモ

Corporate Profile / Shareholders' Memo

■会社概要 (2013年3月31日現在)

商号	： ころネット株式会社
発足	： 2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	： 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
代表者	： 代表取締役会長 菅野 松一 代表取締役社長 齋藤 高紀
資本金	： 500,650千円
決算日	： 3月31日
従業員数	： グループ:504名 [外、臨時従業員12名] 単体:34名
事業内容	： グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、 不動産管理、総務・経理・人事等の管理

■役員 (2013年6月26日現在)

代表取締役会長	菅野 松一
代表取締役社長	齋藤 高紀
常務取締役	安齋 紀之
取締役	玉木 康夫
取締役	羽田 和徳
取締役	川島 利介
常勤監査役	齋藤 信男
監査役	武藤 正隆
監査役	大出 隆秀

■株主メモ (2013年3月31日現在)

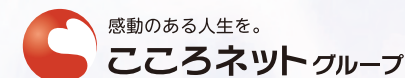
上場市場	： 大阪証券取引所ジャスダック市場
上場日	： 2012年4月25日
証券コード	： 6060
事業年度	： 4月1日から3月31日まで
定時株主総会	： 6月中
株主確定基準日	： 3月31日
剰余金の配当の基準日	： 3月31日、9月30日
株式の売買単位	： 100株
公告掲載方法	： 電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合には、 日本経済新聞に掲載を行います。 電子公告掲載URL： http://cocolonet.jp/
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	： 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	： 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務手続き	： 詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページ にてご確認ください。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/



ころネット株式会社
〒960-0102 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
TEL 024-573-6556 FAX 024-573-6560 HP <http://cocolonet.jp/>



※ 環境に配慮して再生紙と植物由来のインクを使用しています。



株主の皆様へ

2013年3月期のご報告

愛
-AI-

慈
-TSUKUSHIMI-

慶
-YOROKOBI-

徳
-SHINOBU-

証券コード 6060

ころネット株式会社



代表取締役社長
齋藤 高紀

着実な業績拡大を目指してまいります。

Q.1 現在の経営環境をどのように認識されていますか。

<景気は回復基調>

当社グループは、地元福島県と近隣各県を営業エリアとする地域密着型の事業を展開しております。従いまして、国内経済の動向及び全般的消費マインドの影響を受けるとともに、営業エリアの動向が業績に大きなインパクトを及ぼします。当期、このエリアでは、東日本大震災の復興関連投資が地域経済の下支えとなり、緩やかな回復傾向にありました。

<競合は激化>

個々の案件ベースでは、当社グループが展開している葬祭・婚礼、石材などの各業界でシェアをめぐる競争が激化し、非常に厳しい状況が続いております。時代の流れとともにお客様のニーズは変化し、当社グループの提供するサービスは、お客様それぞれの嗜好にお応えしていくことが求められております。

<チャンスを活かす>

現経営環境は、震災直後の落ち込みから回復し、業容拡大に向けたチャンスの時であります。そのチャンスを活かすため、変化するニーズへの最適なサービスの提供、コストパフォーマンスの向上に努めてまいります。

Q.2 そのような中、当期の業績はいかがでしたか。

<好調な石材・婚礼事業>

石材卸売事業が主要営業エリアで好調であったほか、婚礼事業も大幅に業績を伸ばしました。しかしながら、当社グループの主要事業であります葬祭事業では、死亡者数の減少による葬儀施行件数減の影響から減収減益となりました。

<本業は増収増益>

この結果、売上高は前年対比4.2%増の105億4百万円となりました。利益面につきましては、増収を背景に営業利益、経常利益ともに増益となりましたが、当期純利益は、施設閉鎖に伴う減損損失を計上したことなどにより、減益となりました。

■ 業績概況 単位: 百万円

	2012/3	2013/3	増減率
売上高	10,083	10,504	4.2%
経常利益	962	1,092	13.5%
当期純利益	557	527	△5.4%

Q.3 では、今後の経営方針及び注力施策についてご説明ください。

<多様化への対応>

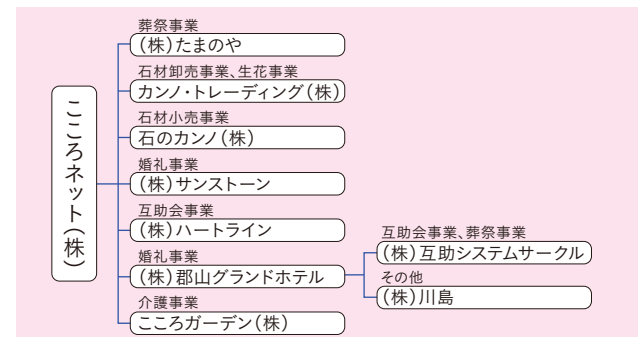
まずは、付加価値の向上による既存事業の強化です。お客様のニーズが、生活様式の変化とともに多様化する中で、当社グループの商品・サービスのあり方もそれに対応していかなければなりません。冠婚葬祭分野における「多様な婚礼プラン」、「家族葬」、「小規模葬」、石材分野における「デザイン墓」、「耐震構造商品」など、当社グループは多彩なサービスの開発・展開に力を入れております。

<エリア拡大と新分野への挑戦>

当社グループは、福島県を核に事業を行っておりますが、主要事業の葬祭事業においても県内シェア約20%程度(当社推計)であり、福島県内での成長の余地は、まだ十分に残っております。こうした中、競争優位の拡充策をもって、このドミナントエリアの強化にも取り組んでおります。

一方、グループの中長期的成長には、エリアの拡大と同時に、新分野への挑戦が大切と考えます。当社グループは「トータルライフサポート」を標榜しており、この具現化に向けて、取組みを加速してまいります。

■ 主なグループ会社 (2013年5月末現在)



Q.4 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

<成長を加速>

当期におきましては、新規事業として介護事業への進出を決め、体制を整えました。また、友好的M&Aにより株式会社郡山グランドホテルを子会社化し、福島県郡山地域での業容拡大を図ってまいります。このように、当社グループは次なる成長に向けて、取組みを加速させております。

<盤石な体制作りへ>

その基本は、人を大切にし、人を育て、「持続的で安定的な成長」を目指していくことです。最大の経営資産は「人」であり、その教育・育成に努め、多様化するお客様のニーズに即応できる磐石な体制を作り上げてまいります。この体制を基に、新たな挑戦を行ってまいります。

なお、当期の1株当たり配当金につきましては、15円の間配当に加え、15円の期末配当を実施し、年間30円といたしました。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



— グループ理念 —

私たちは、人々の「こころ」に
満足と安らぎをもたらす
サービスを提供いたします。

◎当期の主な活動

2012年

4月
1日 福島西ホールを開設
16日 つくば営業所を開設
25日 大阪証券取引所ジャスダック市場に上場

7月
21日 会津メモリアルホール、安積メモリアルホールにて「ふれあい感謝祭」を開催

9月
28日 喜多方メモリアルホールの竣工式を挙行

10月
20日 いなわしろメモリアルホール、安積メモリアルホールにて「ふれあい感謝祭」を開催

12月
3日 平成24年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を実施

10日 取締役会にて新たに介護事業を開始することを決議

11日 ころメモリアル鎌田、福島西ホール、
24日 門田メモリアルホールにてクリスマスコンサートを開催
25日 香典返しの売上の一部を、ご葬家ご理解のもと、福島県「東日本大震災 ふくしまこども寄附金」に寄附(寄附額1,462千円)

皆様のおかげをもちまして、2012年4月25日にジャスダック市場に上場。これを機に、より一層、企業価値の向上に努めています。



香典返しの売上の一部を、ご葬家ご理解のもと、福島県「東日本大震災 ふくしまこども寄附金」に寄附。これからも復興支援、社会貢献に努めてまいります。



株式上場を記念して、地域の皆様に感謝の気持ちを伝えるコンサートを開催。多くの方々とのふれあいを深めました。

2013年

1月
1日 婚礼事業で「Pontaカード」(ポイントカード)の取り扱いを開始
20日 ジャスダック上場を記念して、加藤登紀子コンサートを開催

2月
12日 株式会社郡山グランドホテルを株式交換による完全子会社とすることを決定

3月
25日 2つの婚礼会場をリニューアルし、アニエス郡山とアニエス会津が誕生
29日 福島県「東日本大震災 ふくしまこども寄附金」に第2回目の寄附(寄附額1,621千円)

ゲストハウス型ウェディング式場を2ヶ所でリニューアル。これからの「個」の時代に合わせた挙式を提案していきます。



◎トピックス

株式会社郡山グランドホテルを完全子会社化

当社グループは、地元福島県のドミナントエリア強化に向けて、積極的な施設展開を行ってきていますが、早期にそして効果的な施設拡大を図ることが可能な友好的M&Aの検討も進めてきました。こうした中で、この度、2013年4月1日付けで株式交換による郡山グランドホテルの完全子会社化を実施いたしました。同社は、子会社2社を擁し、福島県郡山地区を中心に婚礼2会場、葬儀3会館を展開するとともに、互助会会員数は約16,000人を有するグループです。

当社グループでは、郡山グランドホテルとの経営統合により、福島県郡山地区の事業拡大を目指していきます。



■株式会社郡山グランドホテルの概要(2012年6月末現在)

商号	株式会社郡山グランドホテル
本店所在地	福島県郡山市
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 川島利介
事業内容	冠婚葬祭(子会社にて互助会事業)
資本金	40,000千円
従業員(連結・グループ)	39名(他臨時従業員253名)

介護事業に新たに参入

当社グループは、地域の生活に密着したトータルライフサポートを目指して事業を展開してきました。この度、この事業領域をさらに拡大すべく、介護事業を新たに開始していきます。具体的には、「サービス付き高齢者向け住宅」を建設し、各種介護事業を行っていきます。

この運営にあたっては、グループ内に新会社を設立し、ノウハウの蓄積を進め、福島県内外への展開も検討していきます。

計画概要

- 建築地(予定) 福島県福島市八島田字樋ノ口 [所有地:1,082.66m²(327.50坪)]
- 建築面積(予定) 延床面積:1,185.00m²(358.46坪) 30戸 全館バリアフリー構造

■新会社の概要

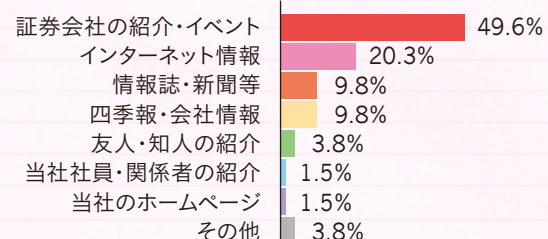
新会社の名称	ころガーデン株式会社
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 齋藤 高紀
資本金	30,000千円
設立時期	2013年4月

「2013年3月期 第2四半期のご報告」に際して株主の皆様にお願ひしました皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の経営に反映さ

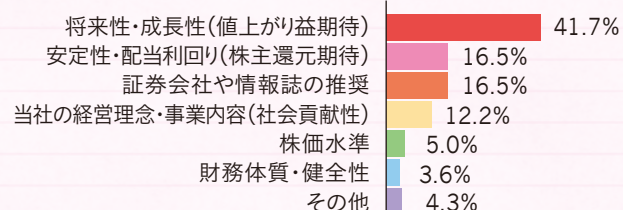
アンケートの結果を以下のとおりご報告いたします。せてまいります。

＜当社からのご質問＞

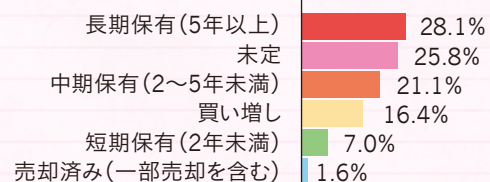
Q.当社をお知りになったきっかけは何でしょうか？



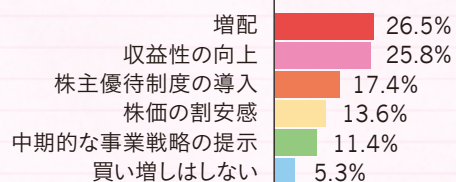
Q.当社株式を購入された理由をお聞かせください。



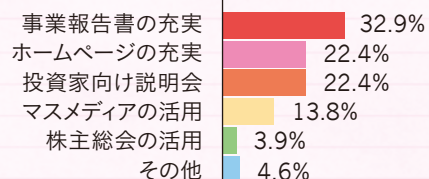
Q.当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。



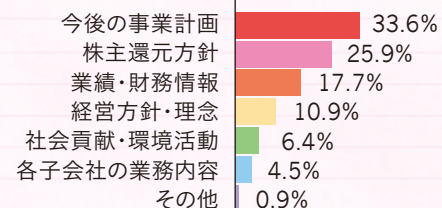
Q.当社株式の買い増しをご検討される際、最も重視されることは何でしょうか？



Q.今後のIR活動について、特に充実を期待されることは何でしょうか？



Q.当社について最もお知りになりたい情報は何でしょうか？



＜株主の皆様からのご意見・ご要望＞

今後の事業計画を教えてください。

A. 今後の事業計画につきましては、先般6月11日に「中期経営計画」を発表いたしました。内容の要約版を本冊子の9ページに記載しておりますのでご覧ください。なお、詳細は当社ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧くださいますようお願いいたします。

具体的な介護事業の計画を知りたい。

A. 介護事業につきましては、2013年4月に運営会社「こころガーデン株式会社(当社の完全子会社)」を設立いたしました。今後人材の確保、施設の建設等の準備を進め、2013年秋には福島県福島市内にて「サービス付き高齢者向け住宅」の運営を開始する予定となっております。さらに将来的には、福島県内外での介護事業展開を検討しております。

会社の知名度向上に努めてほしい。

A. 当社の知名度は全国的にまだまだ低いものと認識しております。これまでも適宜情報開示等を行ってまいりましたが、今後はホームページの充実、PR情報の積極開示、投資家様向けのイベントへの参加等の施策を実施し、知名度向上に努めてまいります。

この他にも、あたたかいご声援や叱咤激励等数多くいただきました。ご協力ありがとうございました。

◎連結貸借対照表(要旨)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。

	前期末 2012年3月31日現在	当期末 2013年3月31日現在
流動資産	3,641	3,580
現金及び預金	2,292	2,281
受取手形及び売掛金	744	717
商品及び製品	326	327
その他	277	253
固定資産	12,941	12,628
有形固定資産	9,209	8,917
無形固定資産	210	147
投資その他の資産	3,521	3,564
資産合計	16,583	16,209

◎連結損益計算書(要旨)

	前期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	当期 2012年4月1日～ 2013年3月31日
売上高	10,083	10,504
売上原価	6,668	6,925
売上総利益	3,414	3,579
販売費及び一般管理費	2,521	2,651
営業利益	892	927
営業外収益	196	253
営業外費用	126	88
経常利益	962	1,092
特別利益	93	350
特別損失	73	552
税金等調整前当期純利益	981	890
法人税等合計	424	362
少数株主損益調整前当期純利益	557	527
当期純利益	557	527

	前期末 2012年3月31日現在	当期末 2013年3月31日現在
流動負債	2,735	2,296
買掛金	363	369
短期借入金	680	480
1年以内返済予定の長期借入金	581	484
その他	1,110	963
固定負債	8,307	7,423
長期借入金	2,918	2,003
その他	5,388	5,419
負債合計	11,042	9,720
株主資本	5,526	6,452
資本金	256	500
資本剰余金	1,375	1,620
利益剰余金	3,894	4,331
その他の包括利益累計額	13	36
純資産合計	5,540	6,488
負債・純資産合計	16,583	16,209

◎連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

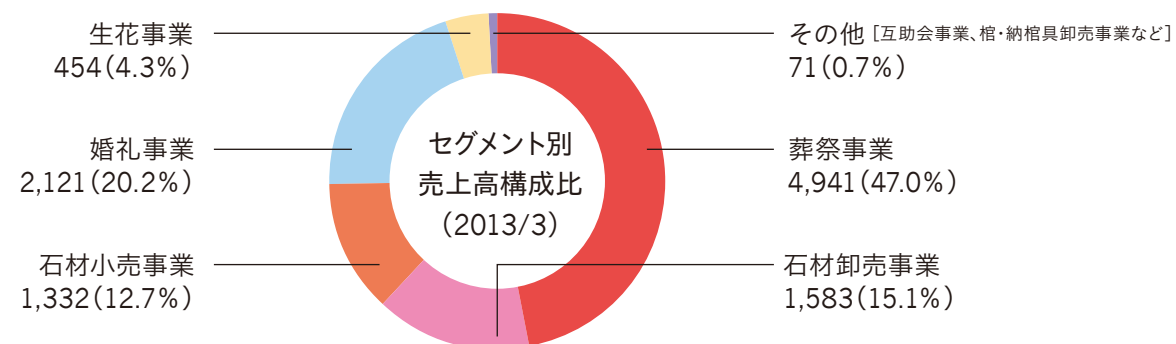
	前期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	当期 2012年4月1日～ 2013年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,172	1,182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425	△333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△527	△845
現金及び現金同等物の期首残高	956	1,131
現金及び現金同等物の期末残高	1,131	1,122

－ 配当政策

当社グループは、企業の発展を通じて株主の皆様のご支援にお応えするために、適切な配当を安定的に行い、将来の事業展開と企業体質の強化のために必要な内部留保を確保して行くことを利益配分の基本方針といたしております。
この方針に基づき、2013年3月期の配当につきましては、1株当たり30円(中間配当15円、期末配当15円)といたしました。なお、2014年3月期の1株当たり年間配当金は30円を予定しております。

◎セグメント別売上高(外部売上)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。



－ 業績・財務コメント

連結貸借対照表

- 固定資産
葬祭会館の新規オープンに伴い増加した一方、施設閉鎖に伴う減損損失の計上等により前年比約313百万円減少。
- 流動負債
借入金の返済等により、前年比約439百万円減少。
- 固定負債
長期借入金の返済等により、前年比約883百万円減少。
- 純資産
増資および利益剰余金の増加により、前年比約948百万円増加。

連結損益計算書

- 売上高
石材卸売事業および婚礼事業の業績好調により、前年比約421百万円増加。
- 営業利益・経常利益
業績好調に伴い、営業利益・経常利益も前年比それぞれ約34百万円、約129百万円増加。
- 当期純利益
業績好調に加え、東京電力からの受取補償金を計上するも、施設閉鎖に伴う減損損失の計上等により、前年比約30百万円減少。

連結キャッシュ・フロー計算書

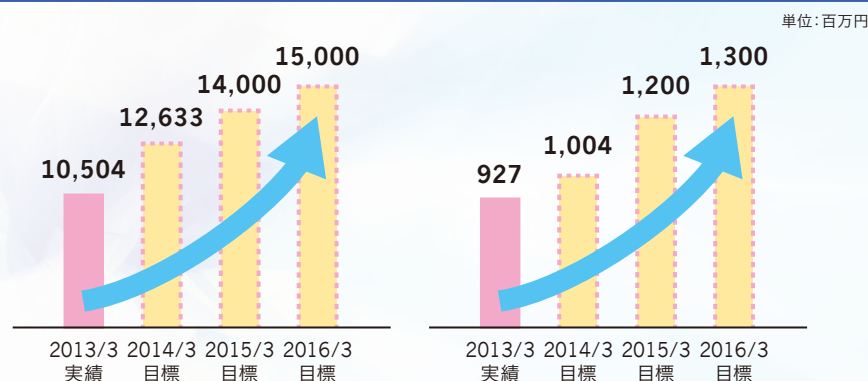
- 営業活動によるキャッシュ・フロー
減損損失計上、補償金の受取等の大幅な増加要因はあったものの、法人税の支払額が増加したこと等により、前年比では僅かに増加。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
投資有価証券の売却、営業保証金の回収等により、前年比約91百万円増加。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
株式発行による収入は、新葬祭会館建設費と借入金返済に充当。

向こう3カ年の中期経営計画を策定

当グループでは、持続的・安定的な成長により、将来の「東証1部への上場」を目指しております。また、業績を追求するのみではなく、「私たちは、人々の『こころ』に満足と安らぎをもたらすサービスを提供する。」というグループ理念のもと、ライフサポート事業を通じ、社会と共に成長していきたいと考えております。

これを踏まえ、3年後の目標を「売上高150億円」「営業利益13億円」とした中期経営計画を策定いたしました。グループ各社が連携して中期経営計画に取り組み、3年後の目標を達成すべく、企業価値の向上に努めてまいります。

3年後の目標 売上高 150億円 営業利益 13億円



重点施策

- ① ドミナントエリアの深耕
- ② 営業エリアの拡大
- ③ 新規事業・友好的M&Aの積極推進
- ④ 魅力ある商品・サービスの開発
- ⑤ コスト削減・経営効率化の推進

※中期経営計画の詳細は当社HPからご覧いただけます。

📄 当社HP <http://cocolonet.jp>

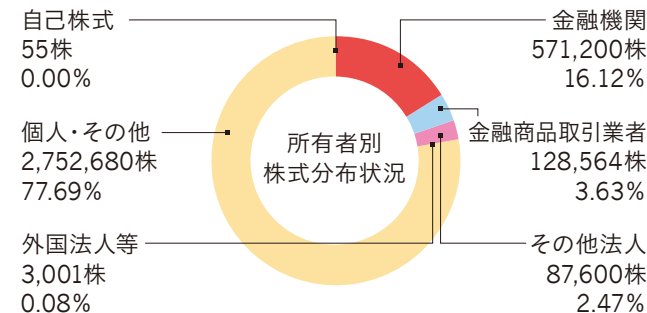
■株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数	5,100,000株
発行済株式総数	3,543,100株
株主数	971名

■大株主 (2013年3月31日現在)

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
菅野 松一	488,120	13.78
菅野 孝太郎	479,640	13.54
齋藤 高紀	366,470	10.34
菅野 光代	209,800	5.92
こころネットグループ従業員持株会	188,040	5.31
株式会社東邦銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行(株))	175,000	4.94
大阪証券金融株式会社	151,700	4.28
株式会社福島銀行	135,000	3.81
齋藤 フヨ	74,830	2.11
平澤 文博	45,680	1.29

■所有者別株式分布状況 (2013年3月31日現在)



■株価・出来高の推移 (2013年3月31日現在)

